

第26号

発行日
2021. 3. 20

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

バス開申
第6号

シェアールバス関東本部「2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」
3/19開催 第2回交渉を行う！①

JR 総連春闘の3つの柱である「雇用確保」「定昇確保」「ペア 6,000 円要求」を実現のため、組合員の「労働実感」「生活実感」の声をもとに団体交渉を行ってきました。

「雇用確保」

組合：事業の継続と雇用の維持を最優先に労使が建設的に議論することが重要である。モチベーションを高め、労働の価値を高め人への投資が必要だ。

会社：過去最悪の赤字決算の状況の中で、雇用の確保が最優先になる。

「雇用の確保」については認識一致！

「定昇確保」「ペア要求」

会社の認識

過去最大の赤字、賃上げは大変厳しい。定期昇給のあり方を含め総体的に考えなくては行けない。賃金引き上げについては収支と今後の見通しを考えると大変厳しい。

組合の主張

労働実感について

- ◆コロナ禍において神経を使っている。車内換気、お客さま対応、案内の仕方、バス車内の消毒など細かいところまで気を遣っている。
- ◆車両係は他社のバスや乗用車の車検も行っている。感染しているお客さまが乗車している可能性もある車両を感染防止に努めつつ整備・点検を行っている。
- ◆「社員が感染していない」とお客さまに安全性を伝えるためにも、感染しない努力をしている認識を持ってもらいたい。
- ◆これまでにない箇所にも出向している。施策に向き合い、協力をしている。

会社の認識

- ・各システムで日々の業務の他にコロナ対応の業務が増えていることは認識している。
- ・コロナ禍で1年以上になるが、感染者がほとんどなく、企業クラスターも1件も発生していない。感染防止に努めていただいているみなさんに感謝申し上げたい。日ごろからの努力の賜物である。
- ・最前線での社員の努力を踏まえて検討したい。

1,000名規模でクラスターを発生させていないことは、
日々の全システムの社員の感染しない・させない努力の賜物だ！
その努力が、事業の継続につながっていることは認識一致！

②へ続く